

都市整備課長の仕事宣言！

都市整備課長 野 田 浩

1 基本姿勢

都市整備課では、鳥栖がこれまで変わることなく守り続けてきた自然、歴史、伝統や鉄道、道路のクロスポイントという地理的優位性、優れた技術や産業、文化を活かし、まちづくりの基本目標の一つである「自然との共生を図り、快適な生活を支えるまち」の目標を達成するための施策を進めてまいります。

具体的には、

- (1) 新鳥栖駅周辺は、九州をリードするまちづくり、そして北部九州の玄関口としての役割を担うため、人・物・情報が集まる拠点としてふさわしい整備として、新鳥栖駅西土地地区画整理事業による都市基盤整備の推進を図ります。

2 重点事業（リープロ 11）の概要

- (1) 新鳥栖駅西土地地区画整理事業

- ・九州新幹線新鳥栖駅を活用して新鳥栖駅を核とした交通結節機能の向上や魅力とにぎわいのある交流拠点都市としてのまちづくりを目指し、リーディング地区としての公共施設の整備改善並びに土地の区画形質の変更による宅地の利用増進を図り、良好な都市機能を備えた健全な市街地の形成を図るための区画整理事業の推進に取り組めます。

3 重点事業（リープロ 11）の取組み

〔 具体的取組名 〕

地域特性を活かした魅力ある拠点の形成を図ります。

〔 5年後の姿 〕

鳥栖駅及び新鳥栖駅周辺が、商業、芸術・文化、食、観光、医療、ビジネスといった人・物・情報が集まる魅力ある「拠点」として、多くの人でにぎわっています。

新鳥栖駅周辺の拠点となる九州国際重粒子線がん治療施設（サガハイマット）が、平成25年8月末より前立腺がん治療が始まり、年度内には全部位の治療が可能となり順調に運営されている。

九州、西日本地域はもとより、アジア各地から多くの人々が治療に訪れ、事業地内にも多くの利便施設等の土地利用が図られ、賑わいのある活気あふれる街となっています。

〔 目 標 値 〕

□現 状 値：新鳥栖駅（新幹線）乗降者数＝2,400人/日（H25実績 駅長聞き取り）
 工事については1街区の補償及び工事が完了し、全筆の使用収益が可能となる。新年度早々に残り7画地の使用収益の開始手続きを行う。また土地利用の確定に向け関係機関との協議を促進する。

国道34号アクセス新鳥栖停車場線の整備が平成26年度中に完了予定。

□5年後の目標値：新鳥栖駅（新幹線・在来線）乗降者数＝**9,590**人/日（H27年度末）

H18.3 新鳥栖周辺道路網計画調差成果による推計値

換地処分等含めた区画整理事業が完了し、新幹線新鳥栖駅前の核である長期滞在型ホテルの着工も決まり、その相乗効果により残りの画地も利便施設等の土地利用が図られる。

〔取組を達成するための事業〕

○ 新鳥栖駅西土地区画整理事業

〔事業内容〕画地の土地利用の増進を図ると共に、上下水道取出し管、乗入れ口設置を遅滞なく行い、並行して換地計画を作成し、換地処分、区画整理登記、清算事務手続きに入り年度内の事業完了を目指す。

〔3年間のスケジュール〕

事業名	H26年度	H27年度	H28年度
新鳥栖駅西土地区画整理事業	区画整理関連工事の推進、換地処分、清算事務手続きが完了	清算事務（～H30）	清算事務（～H30）

〔 事業名：新鳥栖駅西土地区画整理事業 H26年度スケジュール 〕

第1四半期	1街区の使用収益の開始に伴う区画整理審議会の開催。各画地の宅地関連工事の推進と換地計画作成・換地処分区画整理登記清算事務帳票作成業務の発注。
第2四半期	区画整理関連工事の推進、換地計画の作成・個人説明、審議会の開催、縦覧公告
第3四半期	区画整理関連工事の推進、換地計画の認可、換地処分、土地・建物登記。
第4四半期	区画整理関連工事の推進、土地・建物登記、清算金の徴収・交付の事務手続きが完了。

お問い合わせ

都市整備課 (TEL 0942-85-3604 / E-Mail toshi@city.tosu.lg.jp)